

# なとりのすいどう

〒981-1292 宮城県名取市増田字柳田80 名取市水道事業所水道総務係 電話 022-724-7136  
名取市ホームページ <https://www.city.natori.miyagi.jp> 水道事業所Twitter @natori\_suidou

令和4年12月号

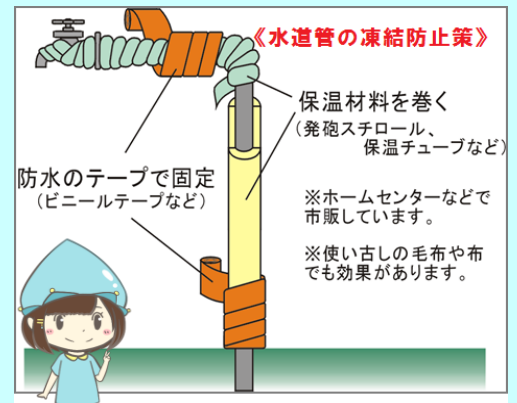
## 水道管の凍結に注意しましょう

気温がマイナス4度以下になると、水道管の凍結や破損などの可能性が高まります。給水設備は個人の財産であり、破損した場合、修理代は自己負担となります。旅行などで家を留守にして長時間水道を使用しないときなどは特に注意が必要です。

凍結を予防するには、夜間や長時間の外出時などは水抜き栓で水を抜く、保温材で水道管を覆う、電気熱を利用した凍結防止帯を水道管に巻き、防水のテープで固定するなどがあります。

蛇口が凍結してしまった場合は、タオルをかぶせて上から少しずつお湯をかけて溶かします。立ち上がり部分の凍結は、外ぶたと内ぶたを外し、管にお湯を少しずつかけて溶かします。(※水道メーターには決してお湯をかけないでください。)

凍結がひどく解消の見込みがない場合や、水道管が破損している場合は、名取市指定給水装置工事業者に修繕を依頼しましょう。



## 合同技術研修会を実施しました

令和4年11月24日(木)に高館浄水場敷地内において、名取市水道事業所、水ingAM株式会社、産電工業株式会社、名取市管工事業協同組合による合同技術研修会を実施しました。

この研修会は、令和4年5月11日(水)に締結した「水道施設災害時に関する協定」のうち、応急給水活動が円滑に行えるようにするための合同訓練です。研修会には30名が参加し、緊急時浄水装置の動作点検・操作説明及び応急給水タンク組み立て、給水訓練を行いました。

緊急時浄水装置は、プールや防火水槽の水をろ過後、滅菌して飲料水を生成するものです。今回は、メーカーの技術者を講師に迎え説明を受けました。操作方法から薬品の使い方まで丁寧に指導いただき、受講者も実際に操作を行いました。

次に、応急給水タンクの組み立てを行いました。この給水タンクには1tの水が入り、名取市ではこの応急給水タンクを8基保有しています。複数の場所で給水が必要となった場合には、このような組立式応急給水タンクが活躍します。給水車で避難所等の複数の場所にある給水タンクに補充給水することで、給水車が効率よく地域の応急給水ができます。

最後に、個人に配る非常用給水袋にも実際に水を入れて、使い方や使い心地を確認し、訓練を終了しました。

災害時における飲み水・生活水の確保は、人の生命をつなぐ重要なことです。今後もこのような研修を重ね、災害等緊急時にもスムーズな応急給水活動が出来るよう努めてまいります。

